

- ◆日程 2018年2月2日(金)
- ◆メンバー L：小林(義)
- ◆天候 晴れ、ガス

青森の親戚にお邪魔し八甲田のパウダーを狙った。青森空港で-17℃を記録したとラジオで報道した極寒の朝だった。路面もカリカリで神経を使う。酸ヶ湯温泉に車を停める。山スキーの出発準備も久しぶり、上下ウェアを着てからビーコンを装着していない事に気が付く。えらく手際が悪い。

大岳環状コースを一周の計画で出発、幸いにトレースがあり楽にスキーを前に滑らす。ルートは地獄湯ノ沢に入って行く。美しい樹氷と正面には硫黄岳、振り返れば15年前に滑った事がある横岳が純白の裾野を広げていた。でもコルに上がる時には早くもガスが出てくる。トレースは小岳に向かっており環状コースにコンパスを振りなおし進む。視界約20m、79番指導標で無理せずここで終了とした。戻って仙人岱ヒュッテに入る。東北の山小屋はどこも綺麗だ。中には二人のテレマーカーが石油ストーブを点け休んでいた。私も昼食をとる。

帰りは登ったルートそのまま戻る。シールを外して兼用靴を滑降モードにし滑り出す。ところが野沢温泉のグレンデ成果もなく昔の悪い癖が出て、滑りを楽しむ余裕はなかった。ただそのまま滑り降りた、との感で車に戻り下山連絡を入れた。

翌日は八甲田スキー場 Gondola で上り滑る予定だったが強風で1日中、停止だった。

(記：小林)

CT：酸ヶ湯温泉 9:50-79番標識戻る 11:55-仙人岱ヒュッテ 12:10/12:45
-酸ヶ湯温泉 13:45



地獄湯ノ沢の登り、振り返ると横岳

